
0007. メール型宛先管理登録 呼出し

業務コード	業務名
UOM11	メール型宛先管理登録呼出し

1. 業務概要

入力元がメール処理方式であり、出力パターンが I N Q 型／E X Z 型の宛先について、出力先のメールアドレス I D または出力端末名を出力情報コード単位に呼び出す。

呼び出された情報は、「メール型宛先管理登録（UOM）」業務により訂正を行うことを可能とする。

2. 入力者

全利用者（税関、厚生労働省（食品）、動物検疫所、植物防疫所、入管（航空）、検疫所（人・航空）、厚生局等、輸出証明書等発給機関は除く）

3. 制限事項

なし。

4. 入力条件

（1）入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

（2）入力項目チェック

（A）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（B）項目間関連チェック

なし。

（3）利用者 I D DB チェック

①入力された利用者 I D が利用者 I D DB に存在すること。

②入力された利用者 I D の利用者コード（5桁）が入力者の利用者 I D の利用者コード（5桁）であること。

（4）利用者 DB チェック

入力された入力元メール種別が、入力された利用者 I D の利用者コード（5桁）が利用可能なメール種別であること。

（5）出力情報コード DB チェック

入力された出力情報コードが出力情報コード DB に存在すること。

（6）メール型宛先管理 DB チェック

入力された入力元メール種別と利用者 I D と出力情報コードがメール型宛先管理 DB に存在するか否かのチェックを行う。

5. 処理内容

（1）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「000000-000000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「000000-000000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（2）メール型宛先管理呼出情報編集処理

メール型宛先管理 DB より編集処理を行う。

（3）出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
メール型宛先管理呼出 情報	なし	入力者

7. 特記事項

CSFオンラインメンテナンス規制時間帯DBにて定められた時間帯は業務規制時間帯となり、当該業務を実施することができない。（規制時間帯は別途定めることとする）